

令和５年度 第２回太宰府市観光推進基本計画策定協議会 会議録

1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和５年 11 月 1 日（水）
13 時 30 分 開会
15 時 20 分 閉会
- 2 場 所 太宰府市役所 大会議室

2 出席委員の氏名（16 名）

会 長	竹川 克幸
副会長	大江 英夫
委 員	寺田 正典
委 員	高田 由美子
委 員	高山 博子
委 員	菊武 良一
委 員	草場 康文
委 員	松尾 俊裕
委 員	富田 慎志
委 員	菊本 亮
委 員	河野 圭治
委 員	平田 隆幸
委 員	吉田 憲和
委 員	富永 誠治
委 員	井手 麻由美
委 員	簾内 彩佳

3 欠席委員の氏名（4 名）

委 員	野田 智子
委 員	実藤 裕久
委 員	松澤 尚史
委 員	古賀 正之

4 委員を除き会議に出席したものの職・氏名

太宰府市

観光経済部長	友添 浩一
観光推進課長	西山 英毅
観光推進係長	田上 真也
観光推進係	有田 ゆきな
観光推進係	伊藤 裕貴

株式会社サーベイリサーチセンター

九州事務所主管研究員	堤 彰子
企画課担当	下村 直輝

5 協議会次第

1. 第二次太宰府市観光推進基本計画 調査結果について

- ・日本人旅行者向け聞き取りアンケート
- ・外国人旅行者向け聞き取りアンケート
- ・外国人旅行者向け認知度アンケート
- ・外国人留学生向け WEB アンケート

2. 第二次太宰府市観光推進基本計画 骨子（案）について

3. その他

6 内容

○事務局

(開会挨拶)

○竹川会長

皆様、改めましてこんにちは。会長の日本経済大学の竹川です。

(本会議の次第について説明)

それでは、調査結果についてサーベイリサーチセンターより説明をお願いします。

○サーベイリサーチセンター

(資料説明)

○竹川会長

ありがとうございました。アンケート結果の資料には数値だけではなく定性的なデータも掲載してあります。何かお気づきの点がございましたら、ご意見やご質問等ご発言ください。

○事務局

事務局から補足させていただきます。第1回協議会では、「聞き取りアンケートの調査時期は適切なのか」というご質問をいただいております。本調査は秋の行楽シーズンの実施ではないですが、それにより調査結果が偏ることはないと考えております。また、調査時期が調査結果に影響を及ぼさないよう、帰省等が増えるお盆を外した閑散期に調査日程を設定しております。

○竹川会長

皆様よろしいでしょうか。今の事務局からの説明も含めまして、ご意見等ございましたらご発言をお願いします。

○委員

アンケートで「Instagramを利用している」と回答した方が多いのは参考になりました。その上で質問ですが、Instagramハッシュタグ分析では「太宰府」の関連ハッシュタグに「筑紫野」と「大野城」が出てましたが、「筑紫野」が出ている理由について推測できる方がいらっしゃれば教えていただきたいです。

○サーベイリサーチセンター

分析結果を確認しますと、「二日市」も関連ハッシュタグに出ております。このことから太宰府への観光とともに二日市温泉等にも訪れている方が投稿していることが理由の一つかと考えられます。

○竹川会長

学生に話を聞くと、ハッシュタグは目的地のみではなく、降り立った駅がある場所も設定することが多く、特に外国の方は目的地までのアクセスを知らせるためにそのようにする傾向が強いそうです。

また、二日市温泉等の目的地として訪れた人も、「筑紫野」をハッシュタグに設定していると思われます。観光地を検索した際にその投稿が検索結果に表示されるためには、目的地が含まれている分かりやすい地名をハッシュタグに設定することが重要なようです。

地名というのはとても大事で、地名が入っていない観光地は外国人観光客には分かりにくく、認知度が低い傾向にあります。

その他、お気づきの点がございましたらご発言お願いします。

○委員

外国人への調査は日本語で行われたのでしょうか。

○サーベイリサーチセンター

外国人観光客への調査では、英語、中国語、韓国語を用いて実施しました。

○竹川会長

補足しますと、現地での聞き取り調査では日本経済大学の留学生による外国語での調査を実施しました。留学生へのWEB調査については、日本語で実施しています。

○委員

調査結果から日本人観光客、外国語観光客ともに体験・アクティビティの満足度が最も低く、ここを上げることで観光客が増えるかと思われますが、他の観光地等での成功事例等があれば教えてもらえますでしょうか。

○竹川会長

先月参加した沖縄の観光学会の意見交換では、歴史や文化のみではなく、自然の癒しによるヘルスツーリズムも重要なポイントだという話が出ました。太宰府についても、スポーツも含めたヒーリング目的で訪れる人はいるのですが、観光体験に結びついていない面もあります。また、梅ヶ枝餅は健康になるための食品であったという由来を持っている等、ヘルスツーリズムというワードは太宰府の観光においても検討の対象となると思われます。

○委員

福岡市では農作業体験や、太宰府では難しいと思われますが漁業体験、ワーケーション等の体験に興味を持っています。

○竹川会長

ありがとうございます。福岡市にある能古島は日本遺産の観点では狼煙の繋がりがあある等、歴史的な関わりのある自治体との連携を繋いでいくということも重要な視点かと思います。

他に意見のある方はいますか。よろしいですかね。今後もこれらのデータを活用して計画を策定していきますので、またご発言いただけましたらと思います。

それでは、骨子（案）の構成と第 1 章・第 2 章につきまして、サーベイリサーチセンターよりご説明をお願いします。

○サーベイリサーチセンター

（資料説明）

○竹川会長

ありがとうございました。前提としまして、第 1 回会議での委員の皆様からのご意見については、こちらの骨子案に十分反映しきれていないものもごございます。そちらについては、次の協議会の時に出てくるかと思いますが、改めましてこの骨子案を踏まえて、含めてほしいテーマやご意見がございましたら、ご発言ください。

○委員

外国人の方が日本にお見えになったときに一番苦労したのは、言語表示についてであると耳にしたことがあります。多言語対応を進めることでインバウンドの促進を目指すということを計画の一部に含めた方が良いのではないかと思います。

○竹川会長

貴重なご意見ありがとうございます。今、やさしい日本語が観光や教育の現場でも主流となっています。漢字のルビにひらがなではなくローマ字を振るなどの対応で外国人にとっての読みやすさが変わります。太宰府においてもこのような言語表示について検討していくことが重要だと思います。

○委員

骨子案の第 2 章、社会情勢と国の動向、福岡県の動向の箇所についてですが、観光客の嗜好の変化など、観光がどのように変化しているかについて記載があるのが望ましいかと考えます。

また、太宰府市の観光の現状の箇所については、計画の後段で組織体制等の話が入るのであれば、現在の太宰府市の組織体制に関する説明を含めても良いかと考えます。

○竹川会長

貴重なご意見ありがとうございます。〇〇ツーリズムというものが多く、どれを選択するべきかという話になるかと思いますが。学問的な観点では観光学は体系化が進んでおらず、確立した定義もなく、だからこそ先進的に取り組んでいます。私の要望とし

ましても、計画においては過去も重要で、太宰府の観光の歴史を踏まえてどういう風
に変わっていくべきかという視点も計画に含められたらと考えています。

○委員

KJ 法を用いて観光について話し合う機会が多いのですが、その中では、「宿泊施設が
少ない」という意見が多く出ていますので、宿泊施設を増やすという視点も計画に含
められたらと考えます。また、太宰府天満宮から大宰府政庁跡などの観光地まで距離
があるので、サイクルツーリズムへの取組も良いかと考えます。

○竹川会長

ありがとうございます。宿泊をどうしてももらうかという話は皆様もご存知の通り、
太宰府の観光における大きな課題です。先日市役所職員を対象にした観光ワークショ
ップでは、「太宰府市内で会合等をしてもらうことで滞在時間を伸ばす」という話も出
ました。

○委員

2 点あります。1 点目についてですが、アンケート結果からも読み取れる通り、「ア
クセスが良くない」という意見が多く見られました。二日市駅での乗り換えがあるこ
とで太宰府が遠いと感じる人が多いと思われます。乗り換えを間違えてしまう人も多
いのか、二日市駅では韓国語で「大善寺駅行きには乗らないでください」という案内も
表示されてます。乗り換えを楽にする取組や案内の強化により天神から遠くないとい
うアピールが必要かと思います。

2 点目は、分散ツーリズムについてです。鴻臚館から太宰府に続く歴史的なルートや、
山城や水城を含めた大宰府政庁の立地に関する話を面白いと感じました。このように
歴史的に俯瞰して見た太宰府の場所や構造を上手くアピールすることで、回遊性を促
すという方法もあるのではないかと考えました。

○竹川会長

ありがとうございました。これは大事な要素でして、日本遺産「西の都」は太宰府単
体であったものを県の広域的なものに変更されています。太宰府には歴史の散歩道や
さいふまいの道などの観光の原点に近い風景やものが残っていることから、今も観
光目的で人が集まっていますよという、大きな観光の導入路で計画を立てていくこと
が太宰府らしさ、大太宰府に繋がると思います。小さい太宰府市のエリアと広い太宰
府の文化圏という整理をすることで色々なつながりが見えて、分散型のツーリズムや
コラボレーションができ、そういうのを VFR 観光と言うんですが、要するに関係人口
を増やすことにもつながっていくと思います。

○大江副会長

広域的な観光については、現行計画期間でも令和の影響で坂本八幡宮に多くの人が
訪れた際に、二日市駅から客館跡～朱雀大路～大宰府政庁跡～坂本八幡宮というルー

トを多くの人に訪れてもらおうという取り組みがありましたが、コロナ影響等で上手くいかなかった面もあるため、次期計画でも広域的な観光ルートの開発を計画に含めたいと考えます。

また、宝満山への登山等、3～4 時間以上の滞在となるコンテンツを増やすことで、長く滞在する観光地であるというアピールもしていければと考えます。

二日市駅での乗り換えについては、大宰府行の電車への乗り換えが九州新幹線長崎ルートのように隣のホームから乗り換えが出来ないか検討を依頼したい。隣のホームで乗り換え可能等の対応ができれば乗り換えの利便性が向上すると思います。乗り換えが観光客にとっての心理的な障壁になることは事実なので、乗り換えが不便ではないともっと多くの人に知ってもらう工夫が必要です。

○竹川会長

ありがとうございます。今出たお話については次回の会議で皆様にお示しできればと思います。続きまして、第 3 章～第 5 章についてのご説明を事務局よりお願いします。

○事務局

(資料説明)

○委員

気になる点が何点かございまして、まずはシェアサイクルについてです。シェアサイクルを導入する前に道路の整備が必要だと思います。自転車が通ることで車が減速することが現在の渋滞の原因にもなっているため、道路に自転車専用通行帯を作ることが必要です。そうすることで、道に慣れない観光客も迷うことなく目的地に着くという点でも意味があると思います。また、自転車の置き場もシェアサイクル導入に伴う課題です。既に道路の真ん中に停める観光客がいるので、自転車の数が増えると停める場所に困る人が増えると思います。そのため、停める場所の確保と地図等による周知を並行して進める必要があります。

また、ゴミ箱の設置についてですが、5 年以上前に観光協会か参道会から市に対して、ゴミ箱の設置に向け、ゴミ箱の材質、設置場所、管理体制等について計画を作成し、申し入れをしましたが、却下されたという経緯があります。そのため、今更ながらですが、市から観光協会に申し入れするとスムーズに進むかと思われます。

アンケートの自由回答の結果を見て思ったのですが、世界水泳の時期と被ってしまいましたね。希望する日本での文化体験の回答の中にあった、「茶道の体験施設を作ること」については、早めに実行できることなのかなと思いました。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございます。仰る通り、シェアサイクル導入に関しては、道路の問題は重要です。また、現在西日本鉄道に市が補助を出してレンタサイクル事業を行っております。シェアサイクルの導入については、太宰府市内のみではなく広域

的な観点も含めて採算性が確保できるのかを検証し、都市計画との整合を図りながら検討を進めてまいりたいと思います。

ゴミ箱の件につきましても、ゴミ箱を単に設置するのではなく、ゴミの管理やマナー啓発等も両輪で進めていく必要があります。太宰府市のみで推進するのではなく地元住民の皆様、ステークホルダーの皆様と協議をしつつ進めていくべきだと認識しています。

○竹川会長

ありがとうございます。委員が仰ってましたアンケートの時期について、世界水泳はアンケートの時期より少し前に実施されていたのですが、世界大会と前後して他の小規模な大会も各地で行われており、外国の方は一度日本を訪れてから長い期間滞在していたということが、アンケート結果からも読み取れました。

○委員

骨子案の 8 ページ下側のイメージ図について、表現が難しかったかと思いますが、行政が真ん中にあることで、行政が旗振り役という意図がなくても、そう見えてしまうかと気になりました。

KPI に設定されているリピート率は観光においてとても大切な視点ですが、リピート率を上げるための施策はどこに紐づいているのかなと感じました。太宰府のファンになってもらうような仕組みを作らないと、なかなかリピート率は上がらないのかなと考えます。他のところの事例では、今まで焼き物の絵付け 1 回だったものを、土を取る所から体験してもらうことで年間を通してってもらう仕組みに変更したものがあります。体験型コンテンツを沢山作るというのも一つの手かとは思いますが、工夫しないとなかなかリピートには繋がらないかなと思いました。そのような意識を表せる書き方ができればより良くなるのではないかと思います。

福岡県との連携については、日本遺産「西の都」やユニバーサルツーリズム等を一緒に進めて行ければと思います。

あと、旅行者の満足度、住民の満足度に加え、事業者の満足度についても上げていく施策が必要だと思います。例えば、キャッシュレス化を進める等。受入体制の整備もその一つかもしれません。そういった視点があるとより良くなるのではないかと感じたところです。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございます。滞在時間を延ばして観光消費を増やすという考え方もありますが、リピートのところについては、太宰府には歴史、文化、自然がありますし、季節の移り変わりによって見え方も変わってきます。それに体験を組み合わせた形で特に市内西側エリアでのリピートに繋げていきたいと考えます。先ほど仰られましたとおり、何度も足を運んでいただくようなプランニングという要素も計画に入れられたらと思います。

事業者の満足度については、一昨年度からコロナの関係で事業者さまも打撃を受け

ておられ、事業者さまと連携してイベントを開いたりクーポン券を発行したりする形で支援を行ったりともに観光振興を行ったりしてきた経緯があります。生きがい、愛着、やりがいに繋がる施策を事業者さまと共に考えて行けたらと思っています。

○竹川会長

ありがとうございます。委員にもご指摘いただきましたが、イメージ図はとても大事でして、目指す姿にふさわしいイメージ図をみなさんと一緒に作っていったらと思います。最後に、全体を通して何かご意見ございましたら頂戴したいと思いますが、どうかございませんでしょうか。

○委員

私も旅が好きなので色々情報を収集したりするのですが、その中で発信広報、SNS もそうですが、見ただけで行きたくなるようなデザインのパンフレットやポスターというのが大事だなと思います。私自身が天満宮から巫女さんと一緒に全国の物産展等に PR に行く事があります。その際に天満宮だけではなく太宰府のパンフレットやポスターも一緒に持って行って太宰府の PR も行うのですが、もっと行きたくなるようなパンフレットであればと、もったいなく感じます。例えば雑誌の編集の人にも入ってもらって作ること、どこでも配れる簡易版みたいなものにできればと思います。ツーリズム EXPO にも行きましたが、それ 1 つで行きたくなるようなデザインのパンフレットづくりに力を入れている自治体もあります。基本戦略 2 のプロモーションのところに広報が入るかと思いますが、そういったところにも力を入れていただければと思います。

○事務局

ご意見ありがとうございます。私もツーリズム EXPO に行きましたが、おっしゃる通りですね、我々が独自でデザインしてもなかなか魅力のあるものがないです。民間の印刷業者等しかるべきところと連携してデザインを高めていきたいと思っています。あとは、プロモーションについてもどのような魅力を発信していくか等、戦略的に考えていくことが大事かと思っています。先ほど関係人口の話が出ましたが、最近そのようなブースを出す際に、観光協会や市の SNS 等をその場で QR コードにより登録してもらうことで抽選や試食等ができるという手法がよく使われています。そのような外部に向けた誘客プロモーションについても、手法を検討していきながら皆様と太宰府の良さを PR できればと思います。

○委員

委員から指摘のありましたイメージ図についてですが、私も同じ意見です。それと共に、観光協会等の団体がどこに位置付けられているのかがよく分からなかったです。また、地域には天満宮や大学が含まれていると説明されてましたが、一般的には行政、地元住民、観光事業者が地域に含まれる印象がありますので、そのあたりについてはもう少し検討されて書かれた方が良いかと考えたところです。その他、別の箇所で

近隣自治体との連携についても書かれていたので、このイメージ図にも含めてはいかがでしょうかという点と、これはご提案になりますが、鉄道沿線との連携もそこに含めても良いのかなと思います。

○事務局

ご意見ありがとうございます。一目で分かりやすく見せる図の配置についてはなかなか難しい点もあるのですが、おっしゃるとおり表記が不十分だと伝わらない部分もありますので、ブラッシュアップを進めていければと思います。

○竹川会長

ありがとうございます。時間も迫っておりますので、他に何かございましたら、事務局にメール等でご意見いただけましたら反映させていただきたいと思います。大江副会長より、まとめのお言葉をお願いします。

○大江副会長

今回の計画策定は現行計画の策定時と比較すると、この段階でより具体的な案が出てきたことは素晴らしいと感じます。事務局とサーベイリサーチセンターの皆様に感謝したいと思います。

プロモーションの実行についてですが、県や九州観光機構、他自治体等と連携して行うのも一つの手だと考えます。一番難しいのは、様々な案を実行に移すことです。実行力のある組織づくりが大事ですので、DMOの組成についても検討を進めていただければと思います。

○竹川会長

ありがとうございます。最後に事務局にお返しします。

○事務局

(閉会挨拶)